

子ども・子育て支援事業計画 (令和2年度～令和6年度) (パブリックコメント案)

令和元(2019)年11月

こども部 こども政策課

子ども・子育て支援事業計画

1. 計画の概要
2. 習志野市の現状
3. 基本的な考え方
4. 基本施策
5. 必要量と確保方策

○計画の趣旨

急速な少子化の進行、家庭や地域を取り巻く環境の変化

一人ひとりの子どもが
健やかに成長することができる社会の構築

保育需要などに対する受け皿の確保

多様な子ども・子育て支援を
提供するための体制の確立

計画的な実施

○計画の位置づけ

子ども・子育て支援法

次世代育成支援対策推進法

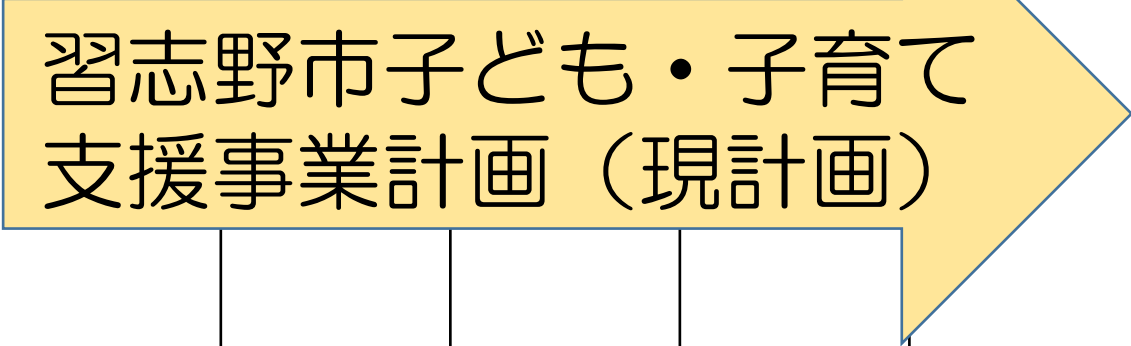
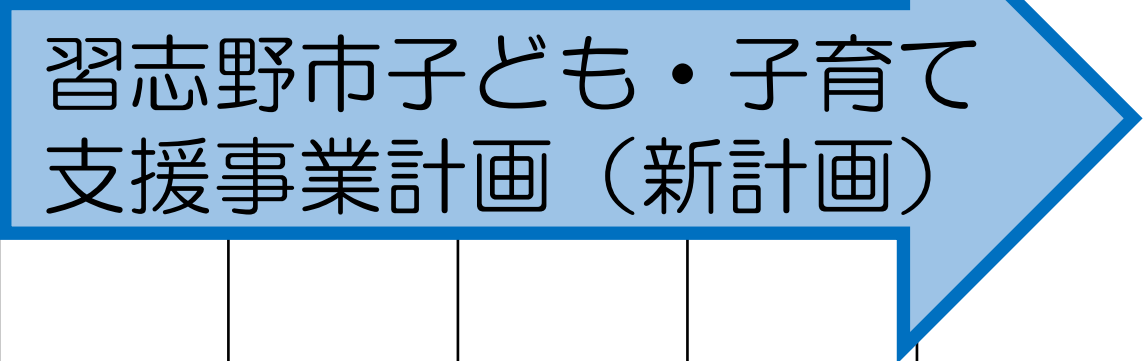
市町村子ども・子育て
支援事業計画

次世代育成支援対策
行動計画

習志野市子ども・子育て支援事業計画

「母子保健計画」 「新・放課後子ども総合プラン」
「子どもの貧困対策推進計画」

○計画期間

平成27 (2015)	平成28 (2016)	平成29 (2017)	平成30 (2018)	令和元 (2019)	令和2 (2020)	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)
 <p>習志野市子ども・子育て 支援事業計画（現計画）</p>					 <p>習志野市子ども・子育て 支援事業計画（新計画）</p>				

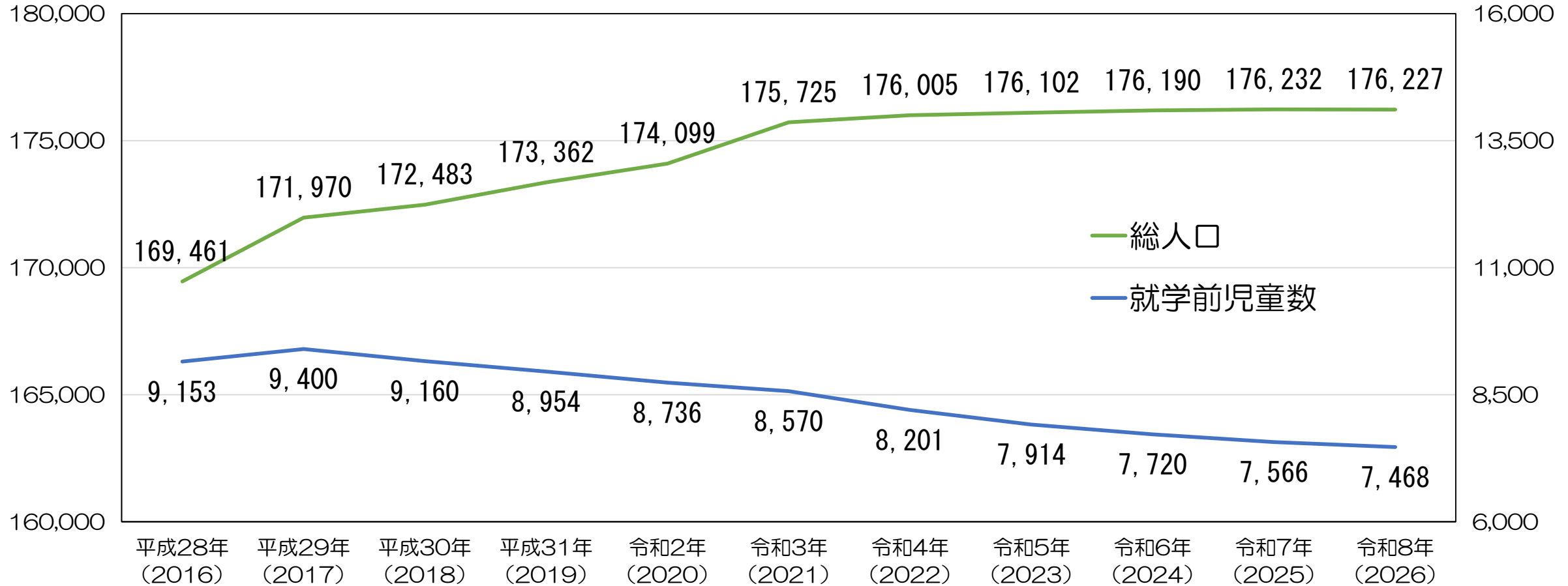
法令の規定に基づき、令和2年から令和6年の5年間

○総人口・就学前児童数の推移・推計

<習志野市人口推計>

(総人口：単位：人)

(就学前児童数：単位：人)

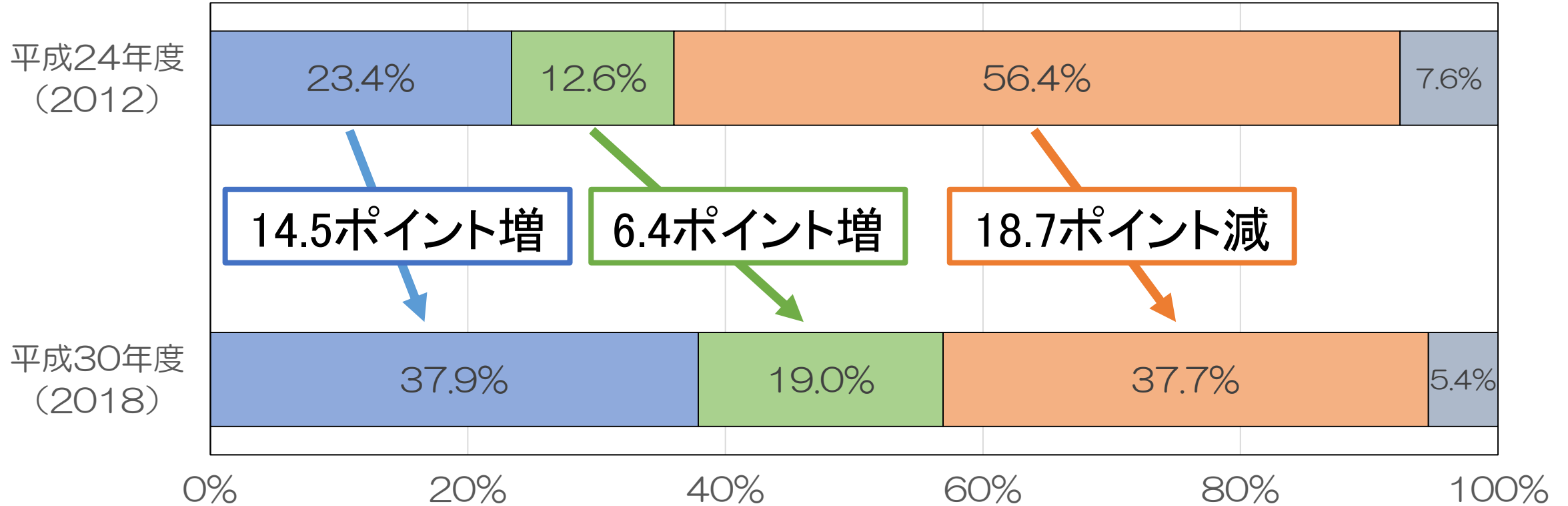


総人口は令和7年まで増加し、その後減少に転じる見込み

○就学前児童世帯の就労状況

〈習志野市子育て支援に関するニーズ調査〉

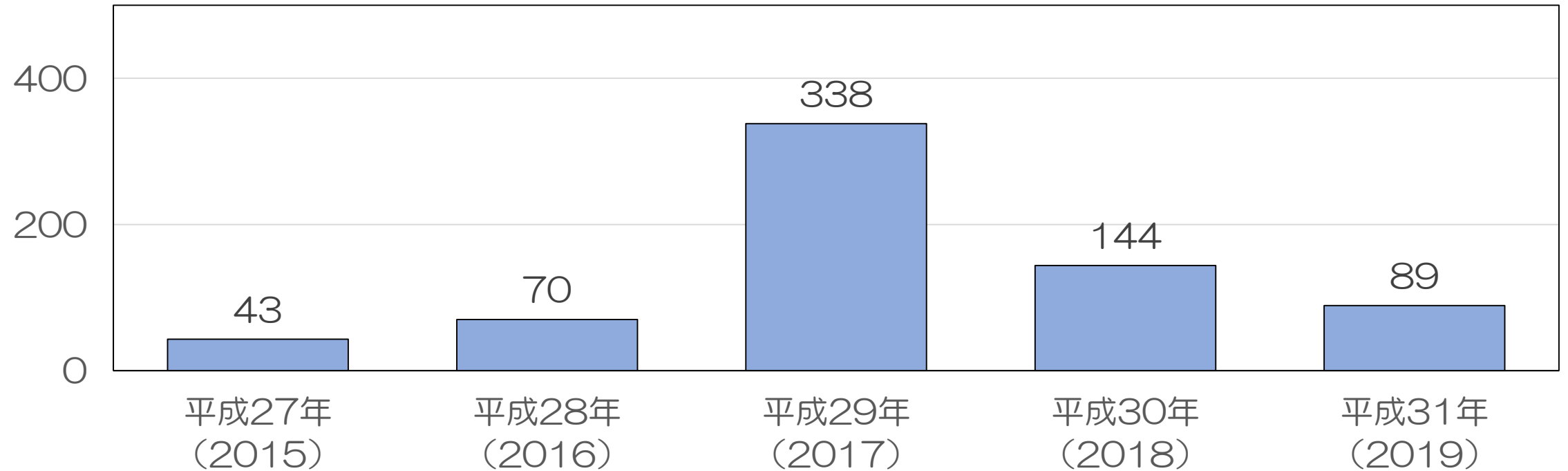
■フルタイム共働き ■フルタイム・パートタイム共働き ■専業主婦（夫）家庭 ■その他



共働き世帯が大きく増加

○待機児童数の推移（保育所等）（各年4月1日現在）

（単位：人）



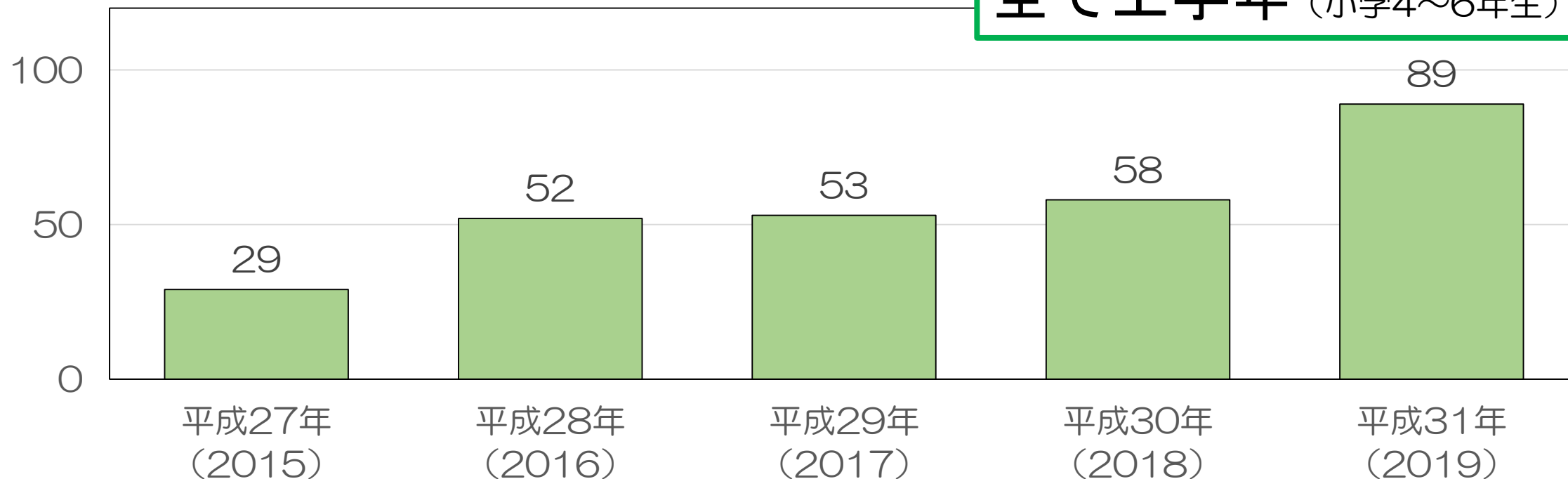
施設整備などで定員拡大

待機児童の解消には至らず

○待機児童数の推移（放課後児童会）（各年5月1日現在）

(単位：人)

全て上学年（小学4～6年生）

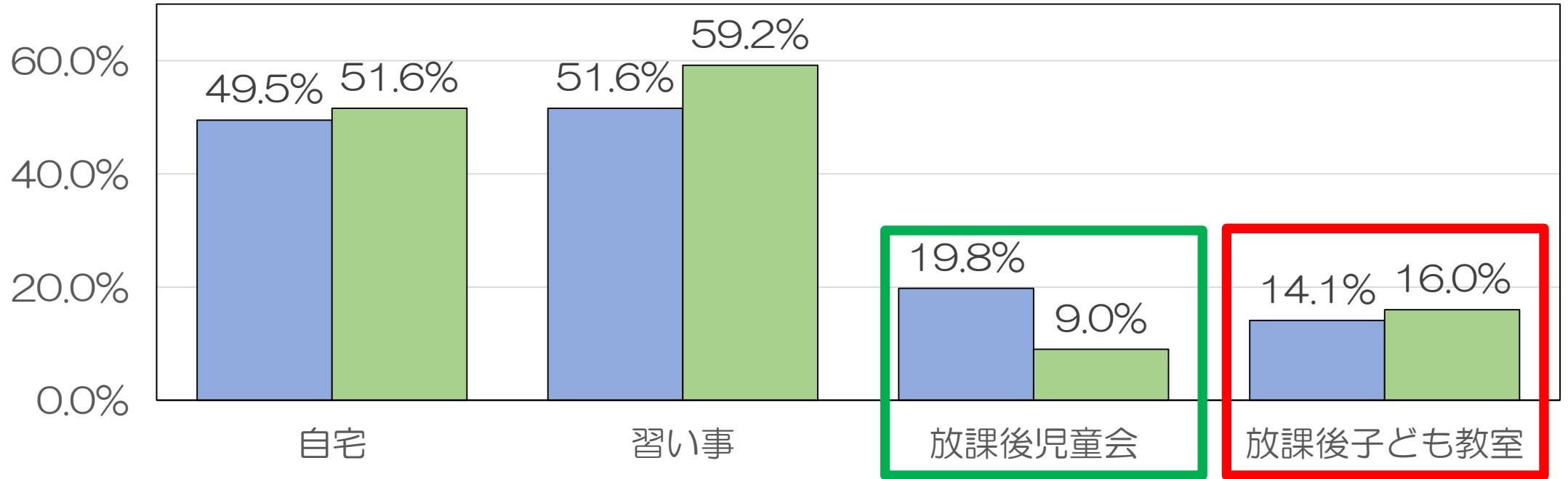


施設整備などで定員拡大

待機児童の解消には至らず

○就学児童世帯の放課後に過ごさせたい場所（複数回答可）

■下学年（小学1～3年生） ■上学年（小学4～6年生） <習志野市子育て支援に関するニーズ調査>

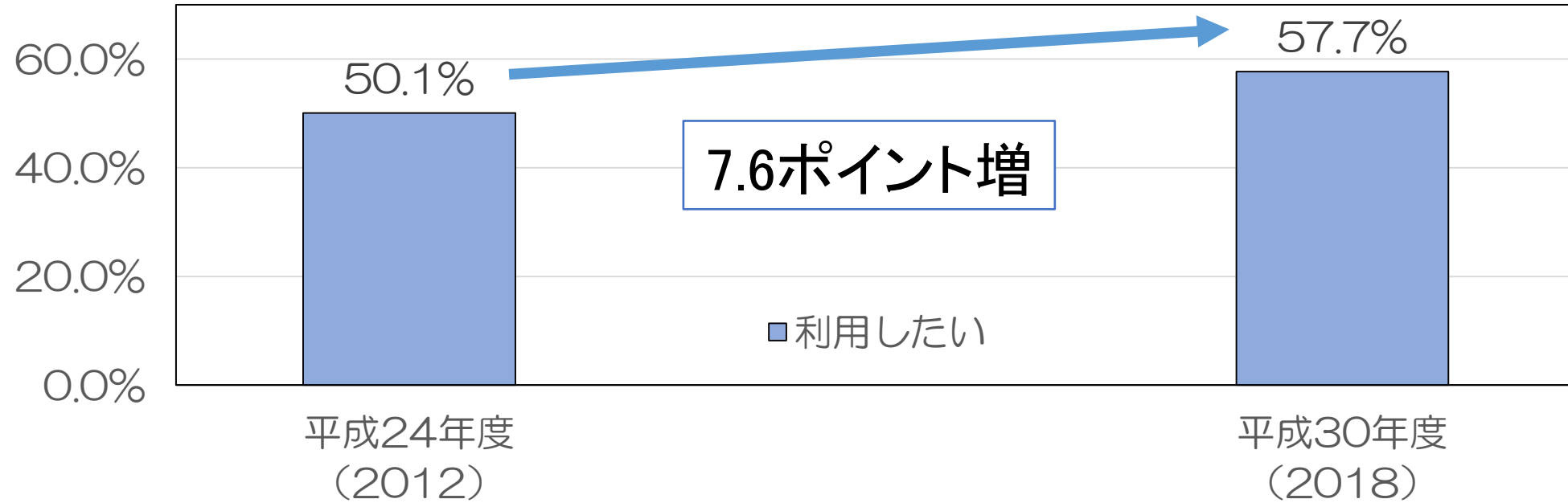


放課後子ども教室の希望（特に上学年対策）

他市の事例も含め実施要望の意見多数

○就学前児童世帯の不定期事業の利用希望

(一時保育、ファミリー・サポート・センター等) <習志野市子育て支援に関するニーズ調査>



一時保育

利用施設拡大

予約方法改善

意見多数

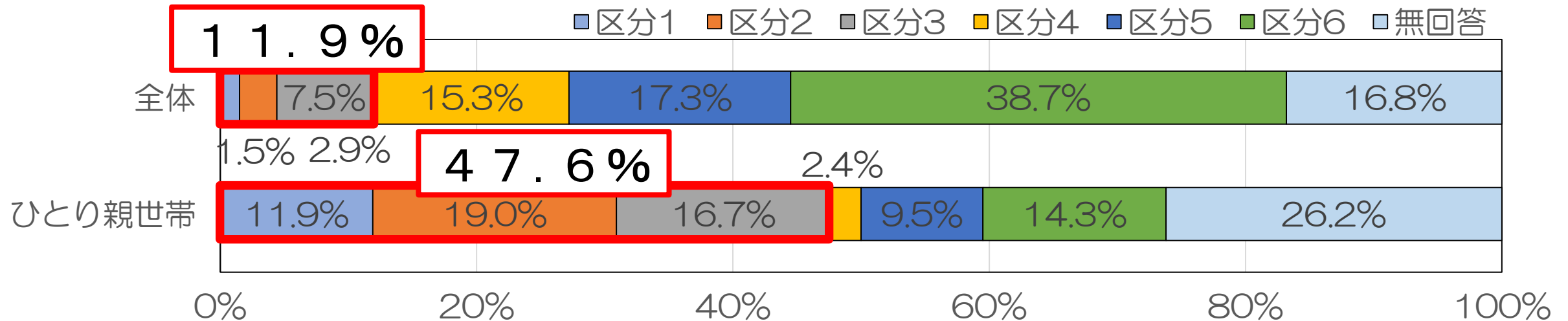
2. 習志野市の現状 習志野市

○世帯の可処分所得区分別構成比のひとり親世帯との比較（小学5年生・中学2年生）

＜習志野市子どもの生活に関する実態調査＞

世帯員 人数	可処分所得（世帯員全員の所得から税・保険料等を除いた額）					
	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
2人	～ 85万円	85～175万円	175～260万円	260～345万円	345～430万円	430万円～
3人	～105万円	105～210万円	210～315万円	315～420万円	420～525万円	525万円～
4人	～120万円	120～245万円	245～365万円	365～485万円	485～605万円	605万円～

経済的に困難な可能性がある世帯（国が算出した貧困線の1.5倍）

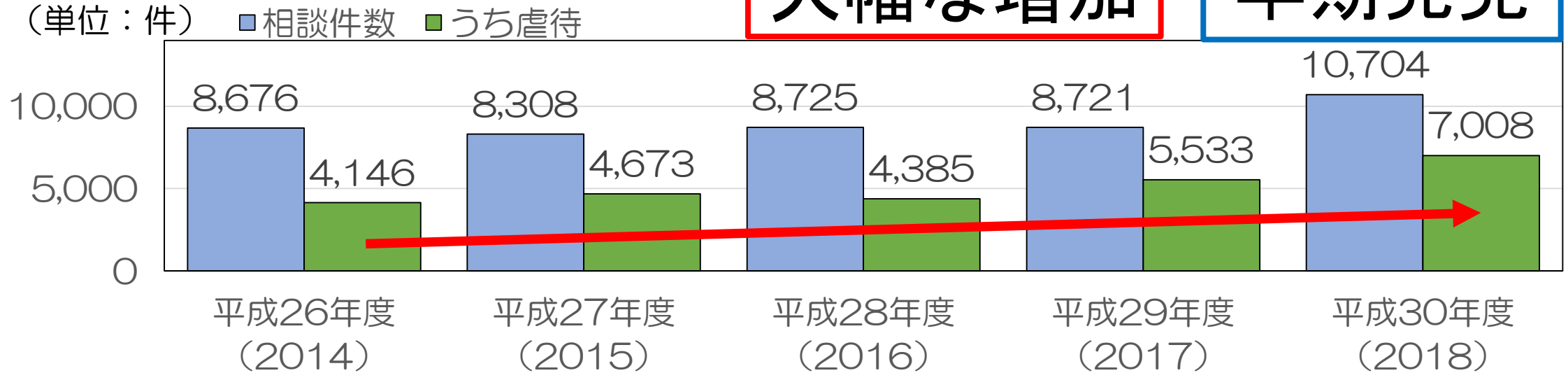


全体でも約1割、ひとり親世帯の約半数が経済的に困難な可能性

○子育て支援相談室への相談件数

大幅な増加

早期発見



○虐待相談対応件数

(単位：件)

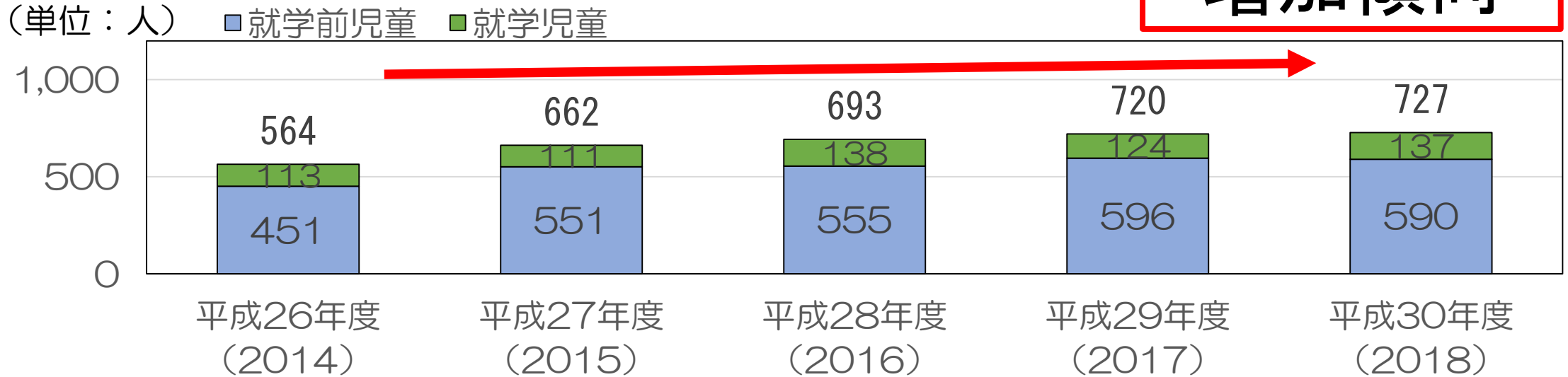


大幅な増加

内容の複雑化

○ひまわり発達相談センター利用実人数

増加傾向



○個別支援計画作成・運用件数



乳幼児期から学齢期への継続的な支援が必要

○次期計画の重点課題

1. 待機児童対策（保育所等）

2. 待機児童対策（放課後児童会）

3. 放課後の居場所づくり（放課後子ども教室）

4. 在宅家庭も含めた預けやすい環境（一時保育）

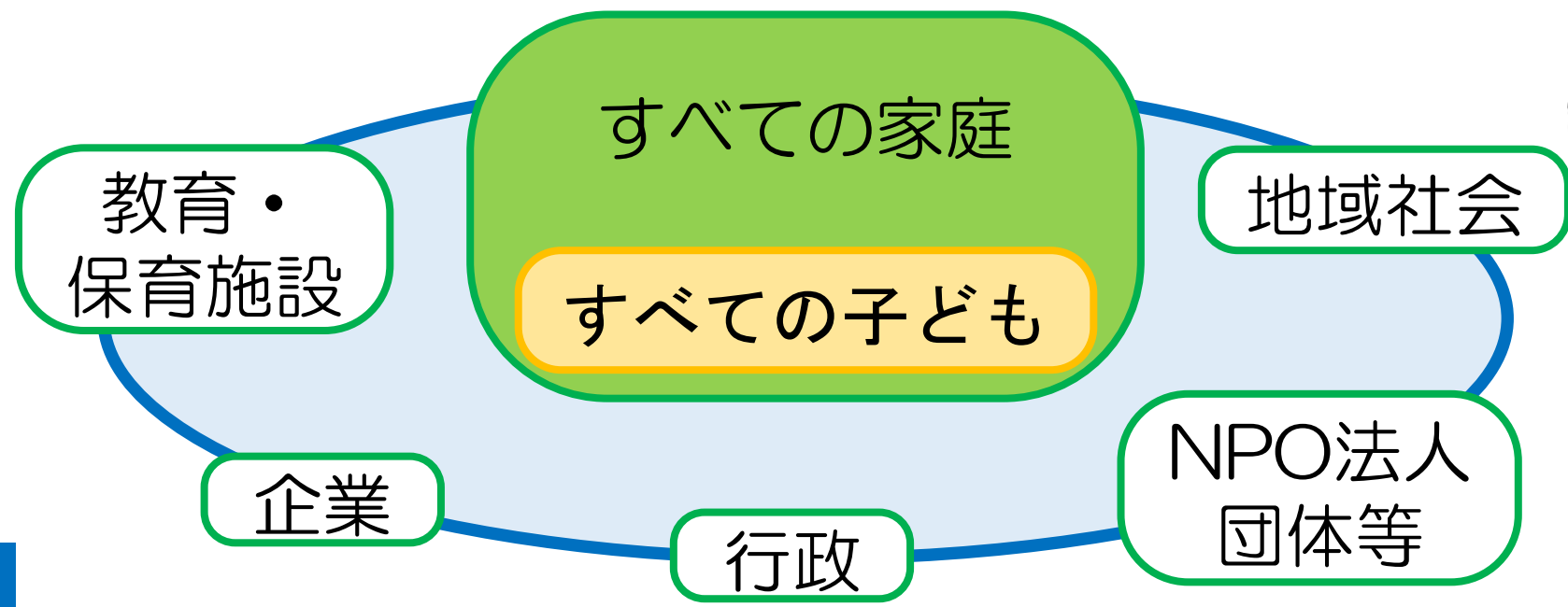
5. 子どもの貧困対策（ひとり親も含めた対策）

6. 児童虐待防止体制の整備

7. 発達支援の充実

○基本理念

子どもの健やかな成長を
みんなのやさしさで支えるまち 習志野



基本視点

基本目標

自律力

子どもが、自分の未来を見つめて
たくましく生きていく力を育む

家庭力

家庭が、喜びや生きがいを感じながら
子育てができる力を持つ

地域力

地域社会が、子どもや家族・家庭を
やさしく見守り支える力を持つ



○重点課題への対応事業

1. 待機児童対策（保育所等）

こども園整備と既存市立幼稚園・保育所の再編

- 市立こども園2園を整備（保育定員拡大）
向山幼稚園をこども園化（R6）、藤崎幼稚園をこども園化（R7）
- 市立保育所3所を私立化（保育定員拡大）
大久保第二保育所、菊田第二保育所を私立化（R6）、
藤崎保育所を私立化（R7）

教育・保育施設、小規模保育事業所の充実

- 民間認可保育所等の誘致等（保育定員拡大）
第一中学校区（R3）



○重点課題への対応事業

2. 待機児童対策（放課後児童会）

放課後児童会の運営

- 需要に応じた施設を整備（定員拡大）
- 支援員確保に向けて、計画的に委託化を実施
これまで、津田沼、大久保東、藤崎で実施
新たに、秋津、東習志野、袖ヶ浦西、袖ヶ浦東、
屋敷、向山、鷺沼で実施

○重点課題への対応事業

3. 放課後の居場所づくり（放課後子ども教室）

放課後子ども教室の実施

- 放課後子ども教室を11小学校に整備
大久保東小、秋津小、東習志野小、袖ヶ浦西小、袖ヶ浦東小、
藤崎小、屋敷小、向山小、香澄小、実花小、鷺沼小
- 放課後児童会との一体的整備

4. 在宅家庭も含めた預けやすい環境（一時保育）

一時預かりの充実

- 実施施設の拡大、予約方法の見直し
(仮) 向山こども園 (R6)、(仮) 藤崎こども園 (R7)



○重点課題への対応事業

5. 子どもの貧困対策（ひとり親も含めた対策）

補足給付の実施

- ・給食費や教材費等に対する費用助成

学習支援の実施

- ・ひとり親も含む生活困窮世帯などへの学習支援

6. 児童虐待対策

虐待の予防、早期発見と対策、防止

- ・子ども家庭総合支援拠点の設置
- ・研修等の実施、児童相談所などとの連携を強化

○重点課題への対応事業

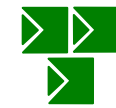
7. 発達支援の充実

ライフサポートファイルの活用

- ・ 幼児期から成人に至るまで切れ目のない支援を推進

巡回相談の実施

- ・ 幼稚園、保育園、こども園に出向き、
保育者と保護者を支援する相談を実施



○その他の主な新規事業など

自律力

子どもの読書活動の推進

- 子どもの読書活動推進計画に基づき、自主的な読書活動を推進

科学教育振興

- 総合教育センター等を活用し、科学的分野を中心とした学習体験「わくわく学びランド」を実施



○その他の主な新規事業など

家庭力

歯と口腔の健康づくりの推進

- 小中学校でのフッ化物洗口の実施

ファミリー・サポート・センターの充実

- こどもセンター等でお預かりする
「ファミサポる～む」の拡大などを検討
- 提供会員等の確保
学習会や談話室の充実に努める



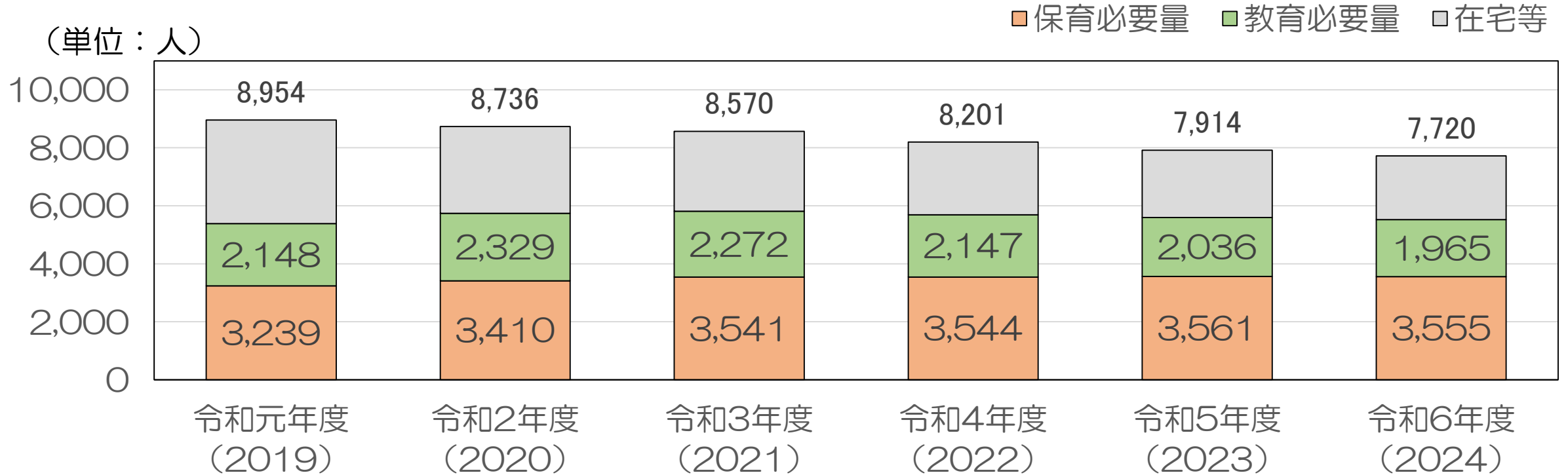
○その他の主な新規事業など

地域力

こどもスペースの開放とプレーパーク等の実施

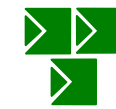
- 生涯学習複合施設「プラッツ習志野」において、子どもたちの遊びの場や学習の場として、こどもスペースを開放し、イベント等を実施
- こどもスペースと中央公園を連動させたプレーパークを実施

就学前児童数と教育・保育の必要量の推計



教育の必要量は減 (児童数減・構成比横ばい)

保育の必要量は増 (児童数減・構成比増)



教育の必要量と確保方策

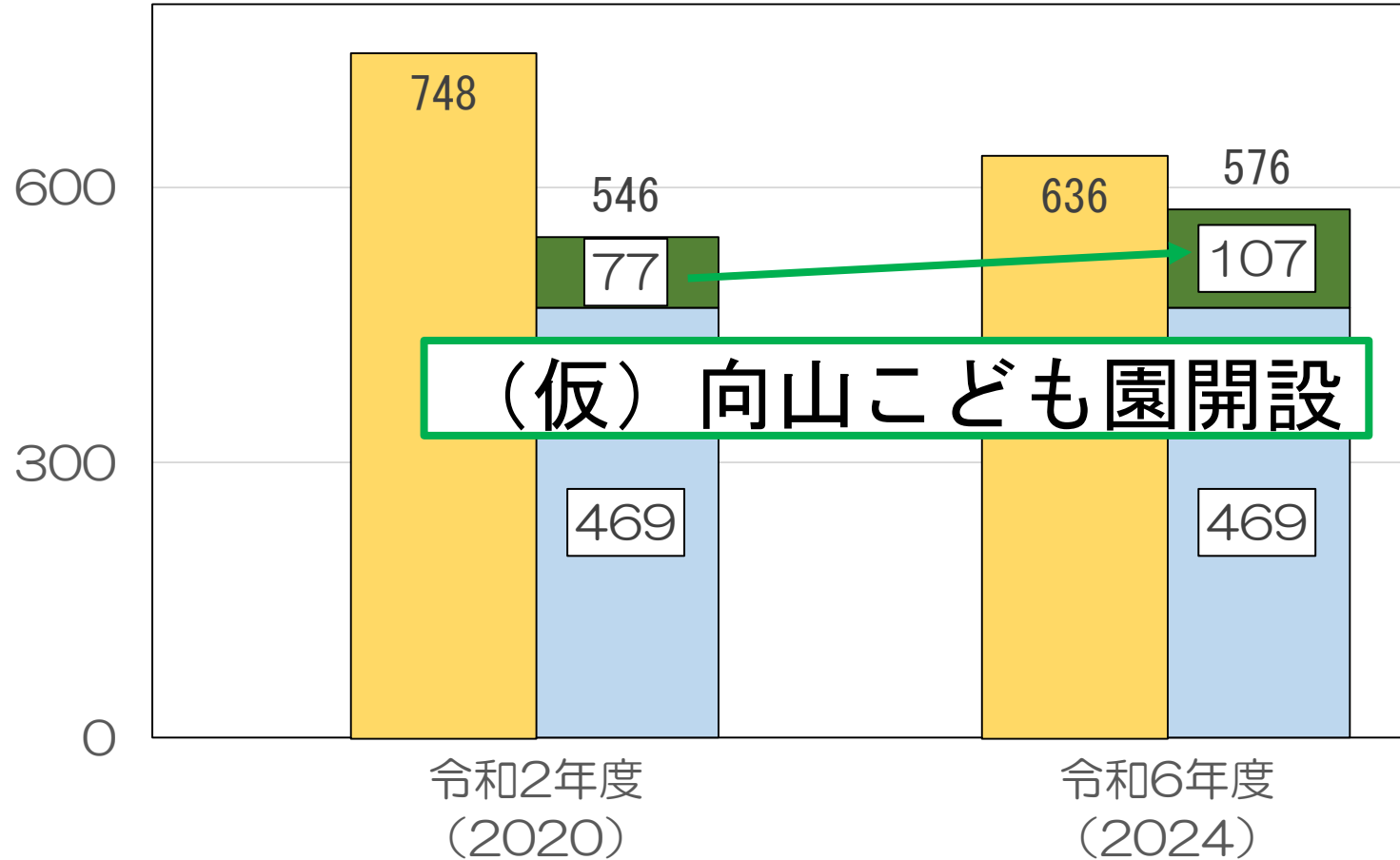
(単位：人)

年齢	区分	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
3歳児	必要量	748	709	683	648	636
	確保方策	546	546	546	546	576
	需給差	△202	△163	△137	△102	△60
4歳児	必要量	788	755	702	678	643
	確保方策	1,354	1,354	1,354	1,354	1,279
	需給差	566	599	652	676	636
5歳児	必要量	793	808	762	710	686
	確保方策	1,354	1,354	1,354	1,354	1,279
	需給差	561	546	592	644	593

教育（3歳児）で不足が見込まれる

教育（3歳児）の確保方策

(単位：人) □私立 ■市立 □必要量



不足分は、市内私立幼稚園、こども園及び市立こども園において、受入れ枠を整えます

保育の必要量と確保方策

年齢	区分	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
0歳児	必要量	264	284	293	308	319
	確保方策	309	330	330	330	339
	需給差	45	46	37	22	20
1・2歳児	必要量	1,292	1,291	1,273	1,281	1,297
	確保方策	1,106	1,173	1,173	1,173	1,239
	需給差	△186	△118	△100	△108	△58
3～5歳児	必要量	1,854	1,966	1,978	1,972	1,939
	確保方策	1,925	2,027	2,027	2,027	2,220
	需給差	71	61	49	55	281

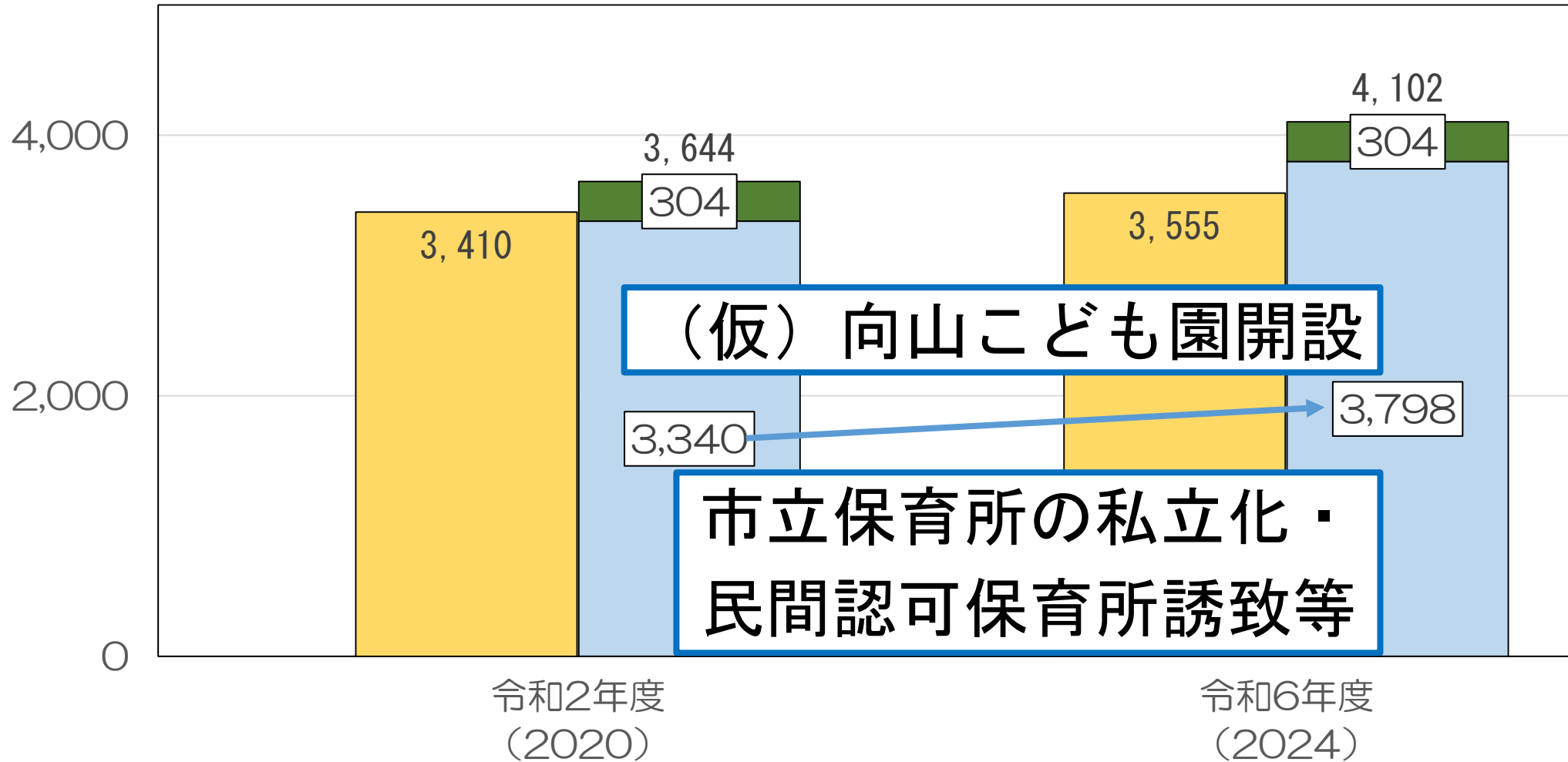
1・2歳で不足

認可外施設を含めると解消

保育の確保方策

(単位：人)

■認可 ■認可外 ■必要量



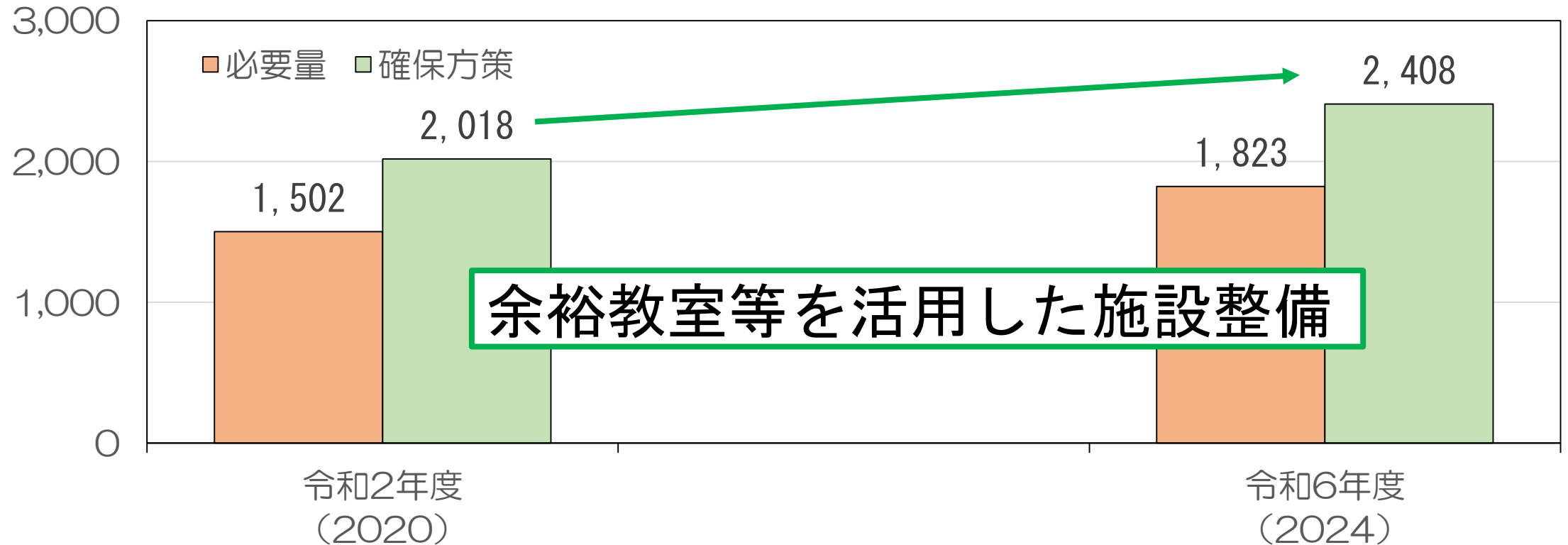
(仮) 向山こども園開設

市立保育所の私立化・民間認可保育所誘致等

地域子ども・子育て支援事業の必要量と確保方策（3）

○放課後児童健全育成事業（放課後児童会）

（単位：人）



余裕教室等を活用した施設整備

放課後子ども教室と連携

5. 必要量と確保方策

地域子ども・子育て支援事業の必要量と確保方策（1）

○地域子育て支援拠点（こどもセンター等）

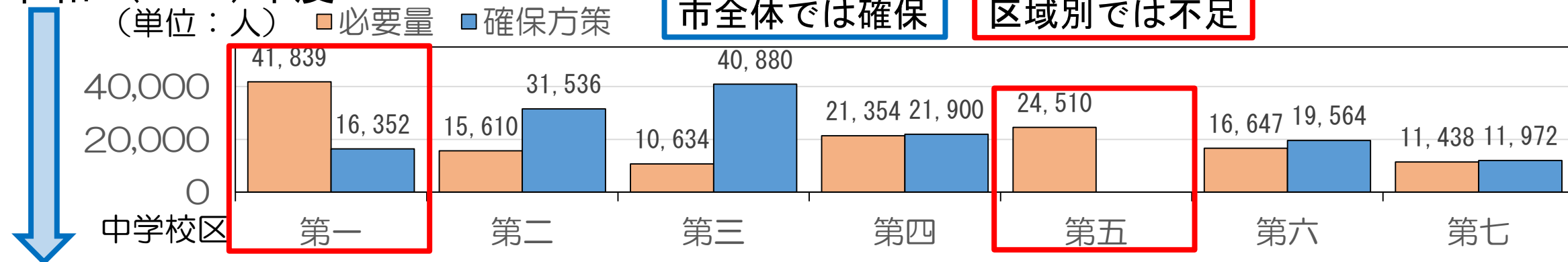
きらっ子ルームおおくぼは、令和2年度大久保こども園こどもセンターへ移転

令和2（2020）年度

（単位：人） □必要量 □確保方策

市全体では確保

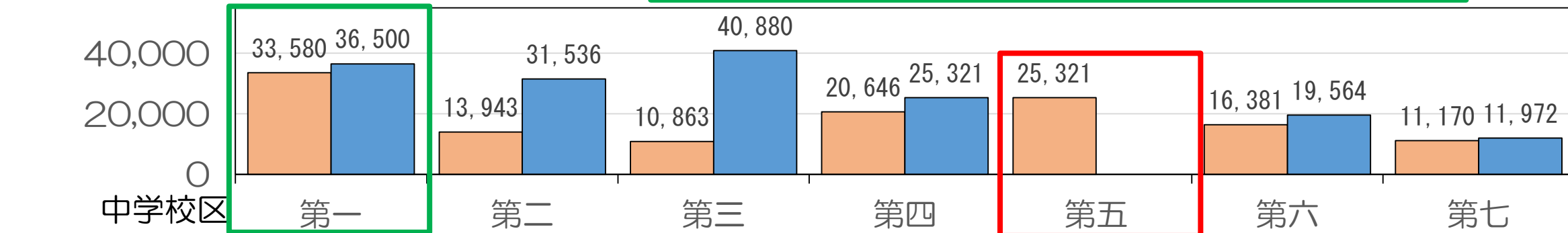
区域別では不足



令和6（2024）年度

（単位：人） □必要量 □確保方策

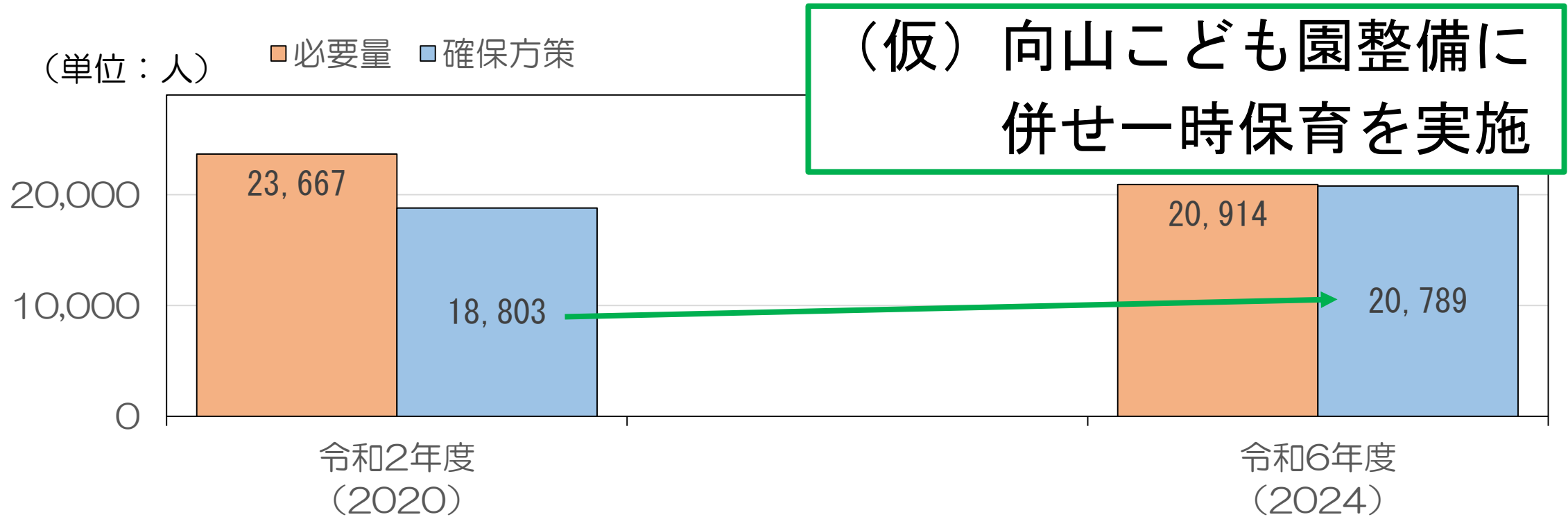
（仮）向山こども園に併せこどもセンターを開設



令和7（2025）年度（仮）藤崎こども園開設に向け準備

地域子ども・子育て支援事業の必要量と確保方策（2）

○一時預かり事業（幼稚園在園児以外の利用分）



地域ニーズを考慮し、実施施設の拡大を検討

予約方法の改善策を検討